

めざす将来像を実現するために

今後10年間について、地域コミュニティ組織と行政がそれぞれの役割で将来像を実現するための方策に取り組みます。

持続可能な地域コミュニティづくりの方策の概要（前期・中期・後期は各3年～4年）

実施項目	主体			地域コミュニティ組織がやること	協働でやること	行政がやること
	実施時期の目安	前期	中期			
① 組織力の深化	① 住民意識の深化	●	●	当事者意識の醸成	住民理解の深化と参画の促進	地域と関わる市職員の育成
	② 地域コミュニティ組織と行政区との関係	●	●	行政区との相互補完の関係づくり	協働で進める地区の実情把握	地区に見合った情報提供
	③ 地域づくりに関わる人材の発掘・育成	●	●	人材の発掘と人をつなぐ組織運営	地域コミュニティを進化するための研修	地域コミュニティ組織の事務局機能の強化
② 活動力の向上	① 地域づくり計画の策定と実行	●		住民ニーズにあった地域づくり計画策定・見直し	地域づくり計画策定を通じた特色ある活動への展開	策定に必要な情報提供と市施策等との関連付け
	② 指定管理者制度	●	●	指定管理者制度の研究と体制整備	協働による制度設計と柔軟な活用	効果的かつ円滑な指定管理移行
	③ 地域コミュニティ組織の法人化の検討		●	組織の実情に応じた法人化の検討	協働による法人化の検討	地域コミュニティ組織の状況に応じた支援
	④ 地域コミュニティ組織の財源の確保			事業の見直しを踏まえた財源確保	行政事務事業の協働化	財源の情報提供と交付金のあり方検討
③ 協働の深化	協働の推進	●	●	多様な主体との連携	中間支援組織を交えた協働による地域づくり	体制の整備・仕組みづくり

協働のまちづくりを進めるために

めざす将来像を実現するために、地域コミュニティ組織と行政やNPO、企業、地域の団体等の多様な主体が協働して取り組み、できることの幅を広げることが大切です。多様な主体を取り込みながら、地区住民が主体的に地域づくりに関わり、力を発揮できるような事業が継続し、活発に展開されることで、住民の自治意識や地区への愛着が高まり、地域コミュニティのさらなる進展が期待できます。

地域コミュニティビジョン策定の意義

平成27(2015)年2月に今後の地域づくりの方向を示すために、「豊岡市新しい地域コミュニティのあり方方針」(以下「あり方方針」という。)を定め、平成29(2017)年4月までに市内全29地区で地域コミュニティ組織が立ち上がりました。

あり方方針では「地区のめざす姿」や「地区の将来像」について十分に示せていないため、本ビジョンでは市が考える地域コミュニティの将来像やそれを実現するための方策など、地区のめざす基本的方向性を示しています。今後、各地区が策定を行う「地域づくり計画」で、本ビジョンが活用されることを期待します。

■ 地域づくり計画

地区をどのような姿に変えていくかや、地区をどのように維持していくかという具体的なビジョンを盛り込んだ、地区の目標や活動内容を定める事業計画

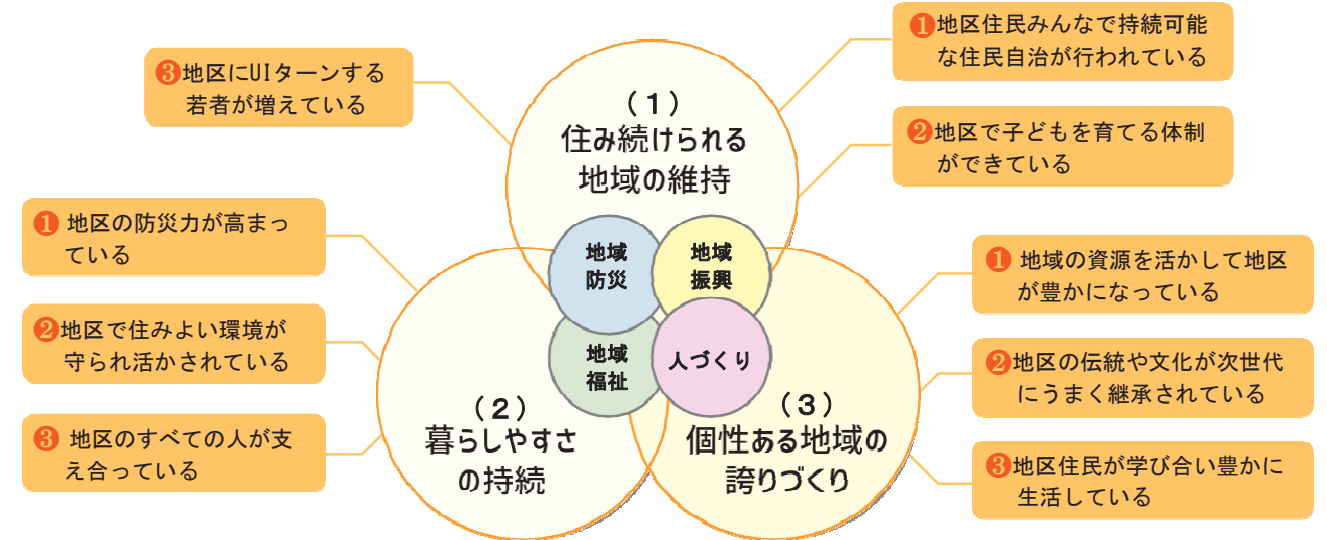
■ 地域づくり計画に盛り込む内容

- ✔ 地域の概要
- ✔ 地域の資源や魅力
- ✔ 地域に発生する問題や困りごと
- ✔ 地域づくりの基本理念
- ✔ 取り組むべき活動や事業
- ✔ 年度別の事業スケジュール など

求められる地域コミュニティ像 —めざす将来像—

それぞれの地区の将来像を決めるのはそこに住む住民であり、地域事情が異なる29地区の将来像を市が個別に示すことはできませんが、市が考える地域コミュニティの将来像、またそれを実現するための方策など、地区のめざす基本的方向性を本ビジョンで示します。

《理念》『誰もが安心して幸せに暮らし続けられる地域』



めざす地域コミュニティの将来像

《基本方針》

- (1) 住み続けられる地域の維持 地域を守り、維持していくために必要な定住人口を保ちましょう。
- (2) 暮らしやすさの持続 自分たちの地域は自分たちで守り、より良くしていきましょう。
- (3) 個性ある地域の誇りづくり 地域資源の活用により、地域の可能性を見だし、将来に伝えていきましょう。

《取組期間》 令和2(2020)年度から令和11(2029)年度まで

めざす将来像を実現するため 一みんなで行いましょう！

方針

現状と課題

具体的なコミュニティ像

具体的な取り組み例

1) 住み続けられる地域の維持



行政区運営の限界への対処

・都市的地域は旧来の住民と新規移住者の関係構築が不十分であったり、中山間地域は少子化・高齢化のため、子ども会や壮年会が消滅している。



少子化・核家族化による地域交流の停滞

・都市的地域は人の出入りが多く住民同士の付き合いが希薄であり、中山間地域は児童数が減少し、PTA活動等の実施が困難となっている。



人口減少に伴う生活環境の悪化

・都市的地域は空き店舗が増加し、市街地の景観にも影響を及ぼしたり、中山間地域は急速に空き家が増え、適切に管理されず放置されている。

①地区住民みんなで持続可能な住民自治が行われている

②地区で子どもを育てる体制ができている

③地区にUIターンする若者が増えている



【共通】行政区を越えた自治運営を助け合う仕組みづくり、地区全体の自治運営の仕組みづくり 他
 【都市的】近隣住民によるさりげない声かけ、行事への丁寧な参加募集 他
 【中山間】行政区の行事の見直し、住民個々人の負担が軽減できるような仕組みづくり 他

【共通】学校との連携・支援のさらなる推進(読み聞かせ、通園・通学時の見守り活動等)、子育てサークル活動 他
 【都市的】親子で楽しめるイベントの実施、地区版ファミリーサポート事業 他
 【中山間】学校の清掃活動への地区住民の参加・協力、小学校及び地区の運動会での相互協力 他

【共通】ふるさと教育のさらなる推進・充実、SNS等による地区の情報発信 他
 【都市的】空家・空き店舗のリストアップと活用の検討、日常的な交流による情報取得 他
 【中山間】空家のリフォームによる定住促進、空家の維持管理活動 他

2) 暮らしやすさの持続



大規模災害に対する地域ぐるみの取り組み

・都市的地域はどこに、だれが暮らしているのか把握しにくい。中山間地域は集落間が離れ避難場所も遠く、また、土砂被害の危険性が高い。



地域の景観や資源保存への対処

・都市的地域は空き家や空き店舗がまちの景観に影響を与えていたり、中山間地域は耕作できなくなった農地が増加している。



地域や職場、家庭での「つながり」の希薄化

・都市的地域は旧来の住民と新規転入者とのつながりが希薄で、中山間地域は人口減少のためこれまで可能であった地域内の支え合いが弱まっている。

①地区の防災力が高まっている。

②地区で住みよい環境が守られ活かされている。

③地区のすべての人が支え合っている。



【共通】防災マップの理解促進、防災訓練、防災リーダーの育成、個別支援計画の策定促進 他
 【都市的】地域でのあいさつ運動、過去の被災経験の共有 他
 【中山間】ご近所避難の取り組み推進 他

【共通】高齢者や障がい者等の見守り、地域資源や魅力の把握、地域資源の管理方法の検討 他
 【都市的】集客施設や商店街の地域ぐるみでの美化活動、空き地・空き店舗の活用 他
 【中山間】農業の組織化・運営、農地の利活用 他

【共通】生活課題の協議の場の設置、さまざまな世代が参加するサロン・ミニデイサービス 他
 【都市的】常設型サロン・カフェの開設、こども食堂の運営、よろず相談窓口の設置 他
 【中山間】移送サービスの実施、小規模多機能拠点の運営 他

3) 個性ある地域の誇りづくり



地元で根差した資源・産業の継承困難

・都市的地域は商店が減り、世代間の技術継承が困難になり、中山間地域は一部住民によって生産されてきた農産加工品の製造方法の継承が行えない。



歴史文化遺産の保存・継承が困難

・都市的地域は特に新規転入者が地区内の歴史文化遺産についての認知度が低く、中山間地域は若年人口が少なく、担い手の人材自体が不足している。



住民の理解・参画不足

・都市的地域は子育て世代の新規転入者が地区の行事に参加しにくかったり、中山間地域は人口減少で行政区対抗のイベント実施が困難となっている。

①地域の資源を活かして地区が豊かになっている。

②地区の伝統や文化が次世代にうまく継承されている。

③地区住民が学び合い豊かに生活している。



【共通】特産品の開発・販売・地域住民による積極的消費 他
 【都市的】地区内商店街の利用促進 他
 【中山間】体験交流イベントの実施、地区の魅力の情報発信 他

【共通】歴史文化学習会の実施、歴史文化に関する世代間交流会の開催 他
 【都市的】新旧住民協働による神社・仏閣の定期的な清掃・点検・修繕、地区歴史文化遺産豆事典の作成 他
 【中山間】地区歴史文化遺産の研究・発信、地区の伝統文化体験ツアーの企画・実施 他

【共通】学校教育に地域住民が参画する学びの場の提供 他
 【都市的】子どもやその親が関心を寄せる取り組みの実施、新たな担い手として世代交代が出来る仕掛けづくり 他
 【中山間】運動会のチームの再編、スポーツ行事の種目の見直し、さまざまな世代が参加しやすい工夫 他

●都市的地域…主に平地部に位置し、その周辺と比べて高い人口密度であり、経済的にも中心機能が集まっている地域のこと。

●中山間地域…傾斜地や山林の多い地域のこと。平野の外縁部から山間地を指し、森林や田畑等国土保全に重要な役割を担っているが、高齢化や過疎化で集落の維持が難しい。